

葦 森 の 風

2学期の半ばを迎えて

いよいよ11月も半ばにさしかかり、後期の時間割に入りました。本日から1年生福祉体験、2年生職場体験、3年生地域学習及び進路に向けた三者懇談会と、大きな行事が始まりました。どの学年の取組も準備に時間を要するものが多く、また学校外部の方との打ち合わせなどに神経をすり減らすことも多かったと思います。大きな成果を心から期待しています。また、3年生のみなさん。いよいよ進路選択と進路実現に向けての個人個人の方向性が明確になってくる時期ですね。何事も受け身になると、不安で苦しいものではないでしょうか。『どうせやるなら、思い切って挑戦してやろう!』という気持ちで、前向きに取り組んでほしいと思います。きっと、学習がいつそう楽しく感じる瞬間を発見できるのではないかと思います。苦しいときは、「自分は、ひとりじゃない!!」を思い起こしてください。がんばれ!リーダー3年生

3年生地域学習風景

(11月9日)

【地域活性化】

着ぐるみ姿で、小学校跡地の再利用を提言
テーマパーク良いね!



【足守の活性】

間倉ごぼうを使って「ごぼうサブレ」を試食させてくれました。おいしい!!



【荒木連合町内会長】

荒木先生の楽しいお話を交えて、とても元気になる激励のお言葉をいただきました。



【鳥取コーディネーター】

地元で、生徒をずっと見守っていただいています。温かなお褒めの言葉に感謝します。



足守中学校運営協議会委員さんから一言

足守中学校の「入学式」で、新入生69名をはじめ、2年生37名、3年生61名と出会ったのが最初でした。校訓【人間の尊厳・真理の探究・個性の伸張】にぴったりの真摯な生徒たちの姿が印象的でした。

2回目の出会いは、台風2号のため6月2日(木)に延期になった「体育会」でした。生徒会のスローガン『燃えあがれ! 167の足守魂!』にそって、生徒たちは1年生から3年生までの縦割り4チームに分かれて競っていました。3年生はリーダーシップを発揮し、続く2年生が伸び、無我夢中に1年生が育つ中で、みんなの心がつながっている様子が、とてもよく伝わってきました。7月の校舎・教室の一般公開、お別れ会行事、8月の移転作業ののち、プラザ大井のすぐ隣の大井校舎での学校生活をしている生徒たちの姿は、とても落ち着いていました。そして9月30日(金)には、「文化祭」ではなく、今年度から「葦中フェスティバル」という呼称に生まれかわり、『スタートダッシュ』というスローガンで開催されました。仕事の関係で、弁論大会にしか参加できず残念でしたが、クラス代表の出場生徒、一人一人のすばらしい主張、考えに出会えて、とても感動しました。

今、とても期待していることは、生徒たちと先生方とで創り出している「協同学習」を参観することです。平成21年8月から取り入れており、グループで考えを出し合ったり、資料を調べたりして、生徒の力で課題を解決していくという「学びの共同体」に出会えることを楽しみにしています。

貴重な思い出と歴史をつくり、夢と希望をもって、やがて3月には卒業していく3年生は、今からきっと心の準備をしていることでしょう。バトンを受け継ぎ、送る立場の2・1年生も、すてきな先輩たちを見習っていることでしょう。

校歌に「新しき世界をめざし、若き日の命に燃えて」とあるように、新しい足守中学校のあゆみを着実に前進させてほしいものです。がんばろう!

プラザ大井館長
田村 雅計 さん



川崎昌宏様のご冥福を心からお祈り申し上げます

去る10月31日に交通事故のため急逝された本校PTA会長であり、また、地域協働学校運営協議会副会長であられた、川崎昌宏様のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。(学校長 津川倫郎)